

2025年  
10月号

発行所・産業通信株式会社  
〒103-0001 東京都中央区日本橋  
小伝馬町 17-17  
☎ 03(3662)8736~7  
FAX 03(3661)7317  
Eメール info@mekkishinpou.jp  
発行人・中島新一郎  
編集人・梶山英樹  
発行日・毎月1回 発行10日

# 日本鍍金新報

JASIS 2025 盛大に開催、約2万人が訪れる

関連記事は2~3面

## 見学会および 定例研究会開催のお知らせ

化に向けて」(株)大和化成研究所開発技術本部次長 奉明美氏



新役員

大阪府鍍金工業組合



上田泰久新理事長

和7年度第3回理事会が9月11日に開催され、野村重之理事長が理事長を退任し、顧問兼理事に就任、新理事長に上田泰久氏が就任した。

・日本パーカライジング株  
・アルバック・ファイ株  
日時..10月31日(金)9時20分  
(平塚駅集合)→19時頃  
(平塚駅解散)  
会費..  
研究会会員..5千円(懇親会  
会員以外..5千円(懇親会  
会費無料)

神奈川表面技術研究会  
田代雄彦会長)では、10月  
31日(金)に見学会、11月5日(水)  
に第3回講演会を開催する。

費別途5千円)  
申込締切 10月6日  
申込入力フォーム:<https://forms.gle/9EgWcPG457m>  
技術開発三課 高松聰之氏  
会費・研究会会員は参加費  
無料。会員以外は、一人に  
5千円  
申込締切 11月3日

神奈川表面技術研究会

【第3回定期研究会】  
日時：11月5日(水)午後1時30分から  
開催方法：Webによるオンライン開催と会場開催の併用  
講演会場：関東学院大学横浜・金沢八景キャンパス  
フォーラムサイト：219階F-1  
・「銀めつき浴のノンシンアン  
・プログラム」  
http://forms.gle/yLBu91V7qthEV8Srg  
＊Webによる開催は、「Webex」を使用したオンライン開催。  
●連絡先  
関東学院大学理工学部理工学科機械学系・材料・表面工学研究所 堀内 義夫  
horuchi@kanto-gakuin.ac.jp

表面処理業界の総合プランナー

**SANDATSU**

めっきのことなら何でもお任せ下さい！

# 株式会社 三 松

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7丁目57番11号  
本社 TEL 03-3733-7131 FAX 03-3739-0321  
湘南 TEL 0466-34-1711 FAX 0466-34-0581  
横浜 TEL 045-461-6088 FAX 045-461-6077  
[www.sanmatu.co.jp](http://www.sanmatu.co.jp)

## メッキ液・エッチング液の薬液濃度計

検出器／変換器一体型 銅濃度／ニッケル濃度計 <b>CU-800 / Ni-800</b>	検出器／変換器分離型 銅濃度／ニッケル濃度計 <b>CU-502 / Ni-502</b>	プロセス用!! 電磁誘導式 液体濃度計 <b>EMC-502</b>	プローブ型! 硫酸銅／ニッケル濃度計 <b>CU-5Z / Ni-5Z</b>								
簡単取付 簡単操作 高機能 											
Cu-800 高濃度:0.0~80.0 g/l (Cu) 低濃度:0.00~20.00 g/l (Cu)  Ni-800 高濃度:0.0~200.0 g/l (Ni) 低濃度:0.00~20.00 g/l (Ni)	工業用 502シリーズ 硫酸銅モニター <b>CU-502</b> ニッケルモニター <b>Ni-502</b> pHモニター <b>PC-502</b> ORPモニター <b>OC-502</b> フッ素イオンモニター <b>KF-502</b> 電磁濃度計 <b>EMC-502</b>	電気的無接触型で 高濃度薬液濃度測定 <table border="1"><tr><td>測定方式</td><td>電磁誘導式センサー</td></tr><tr><td>測定対象</td><td>塩酸、硫酸、硝酸、その他</td></tr><tr><td>測定範囲</td><td>サンプルにより異なります。 (応相談)</td></tr><tr><td>測定単位</td><td></td></tr></table>	測定方式	電磁誘導式センサー	測定対象	塩酸、硫酸、硝酸、その他	測定範囲	サンプルにより異なります。 (応相談)	測定単位		プローブ型 5Zシリーズ ○銅濃度計 <b>CU-5Z</b> 銅濃度を0.0~76.0g/lの範囲で測定 ○ニッケル濃度計 <b>Ni-5Z</b> ニッケル濃度を0.0~199.9g/lの範囲で測定 ○銅・ニッケル濃度計 <b>CUNI-5Z</b> 一台で銅とニッケル濃度を測定
測定方式	電磁誘導式センサー										
測定対象	塩酸、硫酸、硝酸、その他										
測定範囲	サンプルにより異なります。 (応相談)										
測定単位											

KRK 笠原理仁工業株式会社

〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番地 8  
TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157  
URL : <http://www.krkion.co.jp>



JASIS 会場



日本分析機器工業会



人々の暮らしは、様々な科学の進歩の上に成り立っていると私たちは考えます。その各種分析・計測の入口から出口まで一貫した展示会として、analytica、Pittconと並んで、分析・計測に関するアジア最大級の展示会の「科学の進歩を支える、分析機器・科学機器・先端科学・分析システム＆ソリューション展・JAS」が9月3日～5日の3日間、千葉市幕張メッセにおいて、開催された。

開催に先立つ開会式に催し、「電位差滴定法によるアセト酸の定量分析」を題材に、分析・計測の実際を示す。また、分析機器の最新技術説明会は、より幅広い分野発表内容を募ることを目的に今年度より名称を「出展社セミナー」に名称を変更し、メトロームジャパン㈱は、9月3日の10時30分から11時に、TKP（旧アパ）会場No.5号室で「出展社セミナー」を開催し、「電位差滴定法による

省大臣官房審議官田中一成氏、文部科学省大臣官房審議官福井俊英氏、(公社)日本分析化学会会長山本博之氏、米国大使館商務部

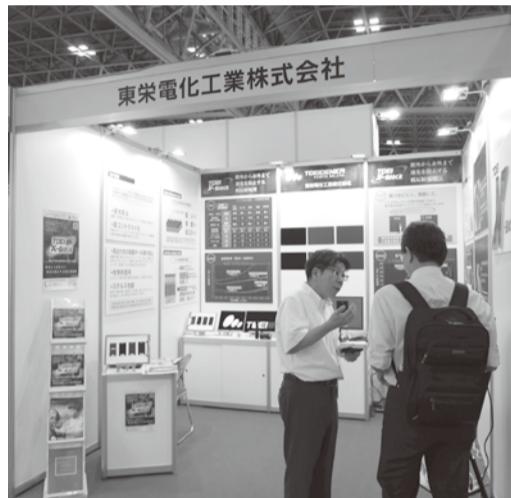
メック液中の金属分析への可能性」と題し、電位差滴定を用いた様々な金属測定の紹介と、メトローム装置での多検体測定の効率化を提案した。



## 堀場製作所

い社会に欠かせない3市場に重点をおき、装置の製造・販売・受託分析を行っている(株)堀場製作所は、(株)堀場アドバンスドテクノ、(株)堀場エステック、(株)堀場テクノサービスと合同のHORIBAブースで、pH計・ORP計・イオン計、ラマン分光光度計、蛍光X線分析装置、粒径・粒度分布測定装置、ガス分析計や同社製品を展示していた。

## 東栄電化工業



神奈川県相模原市の表面処理専業メーカーの東栄電化工業株式会社は、神奈川工業技術開発大賞を受賞した独自技術の光学製品の迷光防止処理として新規開発した『紫外から赤外まで使える低反射アルミイト TOEI X-Black』の量産体制が整い、いつでも量産できると紹介し、同社技術により、これまで以上にお客様にご満足いただける製品を提供して参るとPRした。



## 日立ハイテク

ヘルスケア、半導体、環境、材料、産業・社会インフラなど幅広い事業領域において、社会やお客さまの課題解決につながる製品やソリューションをグローバルに提供している日立ハイテクグループは、新たな企業ビジョン「知る力で、世界を、未来を変えていく」を掲げて、紫外・可視分光光度計・蛍光X線分析装置・走査電子顕微鏡を含む同社グループ製品を展示していた。



## メトロームジャパン

「メトローム製品を通じ、科学技術の発展と地球環境の保護に取り組み、豊かで住み良い社会作りに貢献します」と経営理念を掲げているメトロームジャパン株式会社(市場計輔代表取締役社長/東京都大田区平和島6-1-1 東京流

通センター アネックス)は、自動滴定装置、カールフィッシャー水分計、pH/イオン/導電率計、酸化安定性試験装置、電動ビュレット、イオンクロマトグラフ、近赤外分析計(NIR)、ラマン分光計、ポテンショスタット/ガルバノスタット、ボルタンメトリー/アナリシス(VA)、CVS、オンラインプロセス分析計などを展示了。

## 日本電子



日本電子株式会社は、科学の力で未来をもっと豊かに世界の科学技術の発展を支え続けた歴史を踏まえ、質量分析装置・磁気共鳴装置・透過電子顕微鏡・走査電子顕微鏡・電子顕微鏡他を展示了。

# つくる力、応える力。

その技術は、未来へと走り続ける。

高品質で持続可能なものづくりに貢献するために。  
JCUは、世界に誇る表面処理技術と研究開発力で  
加速する時代に挑み続けます。

**JCU** 株式会社 JCU

みなさまのニーズに即、  
お応えできる材料商社

## 関東金誠株式会社

●取り扱い商品 —————

**非鉄金属／めっき材料／研磨材料**

本 社 〒123-0844 東京都足立区興野1丁目14番19号  
☎ 03 (3852) 7221 / FAX 03 (3852) 7224

高崎営業所 〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町746番地  
☎ 027 (346) 3925 / FAX 027 (346) 3920

**TOP OKUNO**

表面処理の  
未来をカタチに

奥野製業工業は1905年の創業以来、  
お客様に愛されるモノづくりを第一に考えながら  
未来を見据えたさまざまな表面処理技術にチャレンジし続けています。

To the next innovation

無電解めっき処理薬品  
プリント配線板用処理薬品  
プラスチックめっき用処理薬品  
アルミニウム合金用処理薬品  
ハードコーティング剤

表面処理営業部  
本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-7-10  
東京 TEL (03) 3912-9244  
名古屋 TEL (052) 871-1601

国際部 TEL (06) 6961-7802  
営業所/東北・信州・京浜・浜松・九州  
研究所/総合技術研究所

表面処理営業部  
本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-7-10  
東京 TEL (03) 3912-9244  
名古屋 TEL (052) 871-1601

国際部 TEL (06) 6961-7802  
営業所/東北・信州・京浜・浜松・九州  
研究所/総合技術研究所

https://mf.okuno.co.jp/

**第3回 オンラインM&Aをもっと身近に。  
戦略的事業承継セミナー**

～最適なマッチングと成功の秘訣～

第1部：講演 第2部：公社事業の紹介 第3部：パネルディスカッション

参加無料 WEB開催 2025.10/22(水)14:00-16:00 | 先着100名

モールM&Aについて、M&Aプラットフォームの上手な活用方法についてわかりやすく解説する。

第2部では、公社が実施

役員金融企画部長、執行

令和2年より、公社の実

施する「企業再編促進支

援（M&Aマッチング）」

の受託側統括責任者として、株バトンズの取締役

に就任後も継続して上記

事業の実務支援統括を行

う。

第2部 事業紹介

公益財団法人東京都中小

企業振興公社

総合支援課 総合支援担

当 第3部 パネルディスカ

ッショナ

・有中央フォトサービス

元代表取締役 鈴木邦夫

氏（売り手）

（デロフィール）

大学卒業後、異業種で

5年間勤務したのち、父

の体調不良を機に家業を

継承。当初は写真プリント

業務を専念していたが、

代表交代後は写真スタジ

オ業務を兼ねるようにな

り、スマートオペレーションに

対応。その後は、この

流れで、現在は、この

&lt;p

# 2025年度 新入社員意識調査

## 一般社団法人日本能率協会

新入社員 657 人に、仕事や働くことの意識を聞いた  
 ●「一つの会社で定年まで勤める」「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」意向が、約 7 割  
 ●「仕事で失敗したくない意向が強く、人間関係が悪い職場は避けられる傾向  
 ●AI によって 9 割弱が仕事の仕方が変わると認識

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、同会が提供する新入社員向け公開教育セミナーの参加者を対象に、今後のキャリア形成のあり方を探ることを目的に、仕事や働くことに対しそのような意識を持っているか調査を行った。この調査は、2025 年 4 月 1 日～4 月 11 日に実施し、657 人から回答を得ている。同会では毎年、同様の新入社員調査を実施（※コロナ禍の 2021 年を除く）していて、設問によって経年の比較をしている。

### 【調査概要】

調査名称：2025 年度新入社員意識調査  
 調査時期：2025 年 4 月 1 日～2025 年 4 月 11 日  
 調査対象：JMA の新入社員向け公開教育セミナー参加者  
 調査方法：研修開催時に記入（入力）・回収  
 回答数：回答数 657 名

### 【詳細】

1. 「一つの会社で定年まで勤める」「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」意向が高まる。  
 「転職・独立」の代わりに「副業・兼業」意欲が向上、ただし、プライベートも引き続き優先される  
 「一つの仕事を長く続けて専門性を磨きたい」については、「近い」と回答する割合が年々増加し、本年度調査では 35.0% で「どちらかというと近い」の 32.9% をあわせると 7 割弱となっている。  
 「定年まで一つの会社に勤めたい」は、2020 年以降で「近い」と回答する割合が年々増加しており、本年度調査では 34.2% で「どちらかというと近い」の 34.4% をあわせると、こちらも 7 割弱となっている。  
 「副業・兼業をやってみたい」は、「近い」について 2022 年以降は約 2 割とそれほど変わっていないが、「どちらかというと近い」が増加傾向にあり、本年度調査ではあわせると 5 割超となっている。  
 「プライベートを優先したい」は、2020 年以降で「近い」と回答する割合が年々増加しており、本年度調査では 35.8% で「どちらかというと近い」の 47.6% をあわせると 8 割超となっている。  
 【解説】「定年まで」という安定志向と「副業」への挑戦意欲の共存は、企業に依存しきりないためのリスクヘッジ意識の表れと読み取れる。不安定な時代を生き抜くため、まずは一つの会社で専門性を磨きつつ、個人の市場価値を高める武器として副業を捉える、現実的でバランス感覚に優れた新入社員の姿がうかがえる。

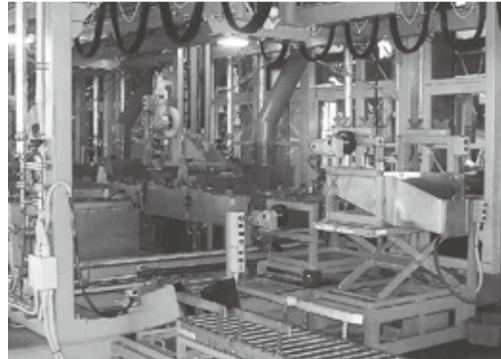
2. 自分のキャリアを描いているのは 5 割。昨年より 10 ポイント減少・キャリアイメージは「3 年から 10 年」先までを描いているが 9 割を占める。

コロナ禍の 2022 年から 2024 年にかけてはキャリアイメージを「描いている（計）※」は増加傾向にあったが、2024 年の 61.1% から 10 ポイント減少、51.7% であった。

学歴別でみると、『高校卒』ではキャリアイメージを「描いている（計）」がやや低い傾向にある。

一方『高専・専門・短大卒』では「描いている（計）」は『大学卒』『大学院卒』と同程度であるが、「描いている」が 20.7% とやや高くなっている。

## 各種メッキ装置の総合メーカー



### 〈特徴〉

20 余年のメッキ業の経験を充分に生かした設計、製作ですからおまかせ下さい。

○手動及び自動メッキ装置 ○メッキ装置関連付帯設備  
 ○メッキ装置関連省力機器 ○公害防止機器全般

**株式会社 オカダテックス**

本社 千葉県野田市花輪 735  
 工場 千葉県野田市上三ヶ尾 261-9 ☎ 0471 (24) 4151 番

キャリアイメージを「描いている」「どちらかと言えば、描いている」と回答した方に、何年先までのキャリアイメージを描いているか尋ねたところ、「3 年」が 19.7%、「5 年」が 35.6%、「10 年」が 33.8% となっており、10 年まで全体の 9 割を占めている。  
 【解説】キャリアイメージを描く割合が昨年から減少した背景には、先行きの不透明感から長期的な目標設定を避け、まずは目の前の仕事で適性を見極めようという現実的な姿勢があるのではないか。コロナ禍の混乱期を過ぎ、調査時期にトランプ大統領による関税措置が発表されたことなど世界情勢の不安定化を感じさせる報道も見られるなど、先行きの不透明感から、地に足をつけキャリアを考えようという「振り戻し」のフェーズに入った可能性も考えられる。

3-1. キャリアイメージを「描いている」と、  
 <働く目的>では「自分の能力を高めること」と「仕事を通じて新しいことにチャレンジすること」といった意向が高い傾向に「あなたの働く目的」を聞いた。

本設問では、各選択肢について 1 位から 3 位まで順位付けし、3 つ以内で選んでいただいた。

全体では、「収入を得ること」が 86.8% と最も高く、「仕事を通じてやりがいや充実感を得ること」が 51.9%、「自分の能力を高めること」が 38.4%、「社会の役に立つこと」が 33.2% となっている。キャリアイメージの有無別でみると、「描いている」では「自分の能力を高めること」が 50.0%、「仕事を通じて新しいことにチャレンジすること」が 34.0% と他に比べて高くなっている。

「収入を得ること」は 77.7% と最も高いが、「1 位」に選んでいる割合は 38.3% と他に比べて低くなっている。また「親を安心させるため」「いろいろな人に出会うこと」も他に比べて低くなっている。「描いていない」では「親を安心させるため」が 40.0%、「いろいろな人に出会うこと」が 28.6% と他に比べて高く、一方「自分の能力を高めること」「仕事を通じて新しいことにチャレンジすること」が他に比べて低くなっている。

「どちらかと言えば描いている」「どちらかと言えば描いていない」では「社会の役に立つこと」が 35% 程度と他に比べて高くなっている。

3-2. キャリアイメージを「描いている」と、  
 <今後強化したい能力・スキル・資質>では「新しい価値を生み出す力」が高い傾向に。

「これから仕事をしていく上で、強化したいと思う点（能力・スキル・資質）」を聞いた。本設問では、各選択肢について 1 位から 3 位まで順位付けし、3 つ以内で選んでいただいた。

全体では、「学習能力（他者や経験から学ぶ力）」が 43.2% と最も高く、「目的を設定し確実に行動する力」が 37.4%、「物事に進んで取り組む力」が 35.3%、「自分の意見をわかりやすく伝える力」が 33.6% となっている。

キャリアイメージの有無別でみると、「描いている」では「学習能力（他者や経験から学ぶ力）」が 55.3%、「新しい価値を生み出す力」が 25.5% と他に比べて高くなっている。

「描いていない」では「自分の意見をわかりやすく伝える力」と「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」が 40.0%、「社会のルールや人の約束を守る力」が 25.7% と他に比べて高くなっている。

【解説】キャリアを描く層が「新しい価値を生み出す力」の強化に意欲的なのには、変化の激しい時代を生き抜くために、既存の業務をこなすだけでなく、自ら付加価値を創造する必要性を感じているからだろう。受け身の学習ではなく、経験から学び、未来を切り拓く力を身につけたいという、高い成長意欲と危機感の表れとみることができる。

4-1. キャリアイメージを「描いている」と、  
 <理想とする上司や先輩>では「部下の意見・要望を傾聴する」「仕事の結果に対する情熱を持っている」「リスクを恐れずチャレンジする」「仕事を任せて見守る」が高い傾向に。

「あなたが理想とする上司や先輩」を聞いた。本設問では、各選択肢について 1 位から 3 位まで順位付けし、3 つ以内で選んでいただいた。

全体では、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」が 67.6% と最も高く、「言動が一致している上司・先輩」が 37.3%、「仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩」が 31.2% となっている。

キャリアイメージの有無別でみると、「描いている」では「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」が 35.1%、「仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩」が 20.2%、「リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩」と「仕事を任せて見守る上司・先輩」が 16.0% と他に比べて高くなっている。一方「言動が一致している上司・先輩」は 24.5% と低くなっている。

【解説】キャリアを描く層ほど「傾聴」や「任せる」上司を求めるのは、彼らが自律的に成長したいと考えている証左だろう。上司を、指示を出すだけの存在ではなく、自分の挑戦を理解し、裁量を与え、対話を通じて成長を支援してくれる「伴走者」として期待しているのではないか。画一的な指導よりも、個々の意欲に応じた関わり方が求められている。

4-2. キャリアイメージを「描いている」と、  
 <上司や人事に求めること>について「キャリアについての定期的フォロー」と「能力開発の意欲に応じて研修受講が可能な環境づくり」が高い傾向に。「意欲や能力を高めるために、上司や人事に求めること」を聞いた。本設問では、各選択肢について 1 位から 3 位まで順位付けし、3 つ以内で選んでいただいた。

## メッキ薬品・装置・研磨材料

長谷川鍍研資材株式会社

〒110-0013 東京都台東区入谷2-30-7  
 ☎ 03(3872)1191(代)～3

全体では、「成長や力量に対する定期的なフィードバック」が 64.4% と最も高く、「ワークライフバランスをとれる柔軟な働きができる環境づくり」が 58.9%、「キャリアや価値観・強み／弱みについての定期的な話し合い」が 49.9%、「20 代が安心して働く、見通しのよい制度・職場づくり」が 46.7% となっている。

キャリアイメージの有無別でみると、「描いている」では「キャリアについての定期的なフォロー」が 40.4%、「能力開発の意欲に応じて研修受講が可能な環境づくり」が 28.7% と他に比べて高く、一方「ワークライフバランスをとれる柔軟な働きができる環境づくり」が 41.5% と他に比べて低くなっている。

『描いていない』『どちらかと言えば描いていない』では「ワークライフバランスをとれる柔軟な働きができる環境づくり」が約 65 % と高くなっている。

【解説】キャリアを描く層が「定期的なフォロー」や「研修」を求めるのは、会社を自身の市場価値を高めるための「成長プラットフォーム」として捉えているからではないか。会社から与えられるキャリアではなく、自らキャリアを築くために、会社の制度や機会を能動的に活用しようとする意欲の表れと言える。企業には個々の成長を後押しする環境整備が期待される。

5. 仕事で失敗したくない意向が強く、人間関係が悪い職場は避けられる傾向。

仕事に対する抵抗度では、『上司や先輩からの指示が曖昧でも、質問をしないで、とりあえず作業を進める』は 8 割が「抵抗がある」と回答している。一方、『困ったときに周囲に相談・連絡する』『上手くいかなかったことを、すぐに報告する』『周囲に協力を依頼する』は 7 ~ 8 割で「抵抗がない」と回答しており、失敗を恐れている傾向がみられる。

特に、『上司や先輩からの指示が曖昧でも、質問をしないで、とりあえず作業を進める』は学歴を問わず抵抗があると回答している。

シチュエーションごとの転職意向では、『職場の人間関係が悪いとき』『昇給（月給が上がる）』が見込めないと感じたとき』『会社の将来性が見込めなくなったとき』で 8 割程度となっている。

特に『職場の人間関係が悪いとき』は「そう思う」が 50.4% と半数を占めている。

【解説】失敗を恐れ「曖昧な指示」に強い抵抗感を示す一方、「相談」に前向きな姿勢は、挑戦するための土台として「心理的安全性」を強く求めていることの表れだろう。安心して挑戦し、失敗から学ぶための環境を求めている。人間関係の悪化が転職に直結するのも、この安全性が脅かされることを最も危惧しているからではないか。

6. 海外転勤を受け入れない意向は 6 割 「ずっと日本人だけと仕事をしたい」は 3 割強。

今後、日本人以外の同僚や取引先と仕事をすることになる可能性があった場合、「海外赴任をして海外で活躍したい」は 9.3% であった。「機会があれば海外の方や海外の取引先と仕事をしたい」の 57.5 % を加えても日本人以外の同僚や取引先との仕事を一緒にすることの意向は 7 割弱にとどまっている。一方「ずっと日本人だけと仕事をしたい」は 33.2% となっている。

転勤の意向では、「海外の転勤は受け入れる」について、「近い」は 14.0% で「どちらかというと近い」の 26.5% とあわせても 4 割程度にとどまり、昨年度よりも海外転勤の意向が低くなっている。

『国内の転勤は受け入れる』について、「近い」は 25.6% で「どちらかというと近い」の 42.6% とあわせると 7 割弱で、国内転勤の意向は昨年度と大きな変化はなかった。

【解説】海外転勤への抵抗感は、必ずしも内向き志向ではなく、プライベートや生活基盤の安定を重視する価値観の変化が背景にあるのではないか。オンラインで世界とつながれる今、物理的な転勤の魅力が相対的に低下している可能性も。企業には、国内でグローバルな経験を積む機会など、多様な働き方とキャリアパスの提示が求められている。

7. AI によって 9 割弱が仕事の仕方が変わると認識。また、約 1 割が AI を使った仕事を「できればしたくない」と回答。利用経験がある AI は「ChatGPT」が 8 割で、『高校卒』以外では約 9 割。

AI によって仕事の仕方が変わるかについて、「変わるとと思う」は 88.1% で大部分を占め、一方「変わると思わない」は 5.6% と少数派であった。

この先、AI を使っての仕事の意向については、「したい」が 28.5%、「機会があればしたい」が 61.3% で約 9 割が「したい」と回答した。一方「できればしたくない」は 1 割であった。

学歴別でみると、『大学卒』『大学院卒』で「したい」が 3 割超と高いが、『高校卒』では 13.0% と低くなっている。

今まで使ったことのある AI では、「ChatGPT」が 79.8%、「Gemini」が 16.4%、「Copilot」が 12.3% であった。

学歴別でみると『高校卒』は他に比べて TOP3 項目の利用経験が低くなっている。

AI の利用経験が低いことから、AI を使っての仕事の意向が低くなっている。一方『高校卒』以外では約 9 割が「ChatGPT」を利用しておらず、AI の利用が浸透していることがうかがえる。

【解説】新入社員の多くは AI を業務効率化のツールとしてポジティブに捉えている。一方で、学歴による利用経験の差は、今後の情報格差（デジタルデバイド）につながる懸念がある。

AI を使いこなすことが当たり前となる中、企業は全社員の IT リテラシーを底上げする体系的な教育機会を提供し、スタートラインをそろえる必要性が高まっているのではないか。

## 信頼と信用をかたちに

合同会社 南越化成

FRP 加工・成型・施工

〒315-0121 茨城県石岡市真家 422  
 電話 0299-46-0063 E-mail info@minamisyuu.co.jp

